



本郷台小 だより

6月

横浜市立本郷台小学校
令和4年5月31日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>



アジサイに寄せて

～よこはま☆保育・教育宣言と子どもへの思い～

校長 原 南実子

例年より早く、学校のアジサイが色づき始めています。水色のさわやかなアジサイです。この季節になるとアジサイの花言葉を思い出します。時期によって花の色が変わることから「移り気」というのが一般的ですが、色ごとにも花言葉があり、青いアジサイは「辛抱強い愛情」という花言葉をもっています。子ども達と真摯に向き合い、子ども達の成長を願い続ける時、この花言葉は勇気を与えてくれます。

アジサイの花を見ながら、「よこはま☆保育・教育宣言」を思い出しました。これは一昨年9月に横浜市から出されたもので、今と未来を生きる子どもを育むために共有したい子どもの姿や方向性、大人のまなざし書かれています。乳幼児期の保育者はもちろん、小学校の教職員、保護者、地域の方々等、子どもの育ちに関わる全ての大人が共有していきたいことが書かれており、本郷台小の保護者や地域の皆様にもお伝えしたいと思いました。

まず、子どもが自分を「かけがえのない存在」と感じて過ごすことができるように、安心できる環境をつくり、一人ひとりを受け止め、さまざまな人と関わることを大切にしていこう、ということ。安心できる環境において、子どもは自分らしきを出したり、自己肯定感をもてたりするようになります。様々なことに挑戦する中でやりたいことを見つけていく姿は、自分らしきを見つけ、自己を肯定していく姿につながっている、ととらえることができそうです。人と関わることは、一緒に活動することを通して協力することの楽しさや他者を信頼する気持ちを育むことにつながる姿ととらえることができそうです。

もう一つが、子どもの育ちと学びを支える主体性を大切にしていこう、ということ。幼稚園や保育園では、周りの環境に夢中になって遊びこむ中で、さまざまな学びの芽生えが見えてきます。その芽生えは小学校で自覚的な学びの基盤となり、生涯にわたる生きる力を育むことにつながっていくととらえることができます。「遊びは学び」なのですね。夢中になって遊びこむという姿の中に、子ども達の未来に向けた生きる力が育まれているということです。こうした子ども達に向けた思いや大人のまなざし、育ちや学びに向けた方向性をともにすることは、子どもにとって、とても大切なことだと、アジサイの花を見ながら思いました。

本郷台小では、乳幼児期の育ちと学びを繋ぐスタートカリキュラムに取り組んでいます。子ども達が安心して自己発揮したり学びの芽を教科の学習につなげたりしていけるように、遊びや遊びの要素を取り入れ、夢中になって活動に取り組めるようにしています。そして、その「夢中」と主体性は3年生以上の学習にも繋げています。先日、4年生は上郷に、5年生は三浦に宿泊体験学習に行ってきました。3年ぶりの宿泊を伴った体験学習となりました。そこで見た子ども達の夢中な姿、本気で取り組む姿、やりたいことや目指したいことに向かって粘り強く取り組む姿、喜びや楽しさ、困難さを仲間と共感しながら自分たちの時間を創り出していこうとする姿にも見た思いがしました。今、教育では非認知能力の大切さが注目されています。自分を信じる力、意欲、学習への志向性、やり抜く力、粘り強さ、協調性、思いやり、失敗から学ぶ力、周りの人と円滑にコミュニケーションをとる力といった力などで、数値化されにくいものですが、生涯にわたって役立つ力、子どもが人生を豊かにしていく力、と言われていています。今と未来を生きる子どもに対し、今、この時期に大切にしたい子どもへのかかわり方、子ども観、将来につながる姿を皆で共有し、焦ることなく、辛抱強く愛情を注ぎ続けていきたいと思えます。